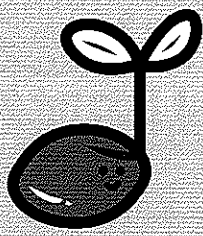


ボランティア・市民活動情報誌



OITA ぼらのたね

URL <http://www.oitavoc.jp> E-mail oitavoc@oitavoc.jp

～ボランティアの種を蒔いて育てよう～

発行所

社会福祉法人 大分県社会福祉協議会
大分県ボランティア・市民活動センター
〒870-0907
大分市大津町2丁目1番41号

お問合せ先

TEL (097) 558-3373
FAX (097) 558-1296

2009 JULY

No.15

この夏を思いっきり楽しもう!!

ペットボトルキャップや使用済み切手の収集や、手話・点字・点訳・傾聴といった技術を身につけての支援活動、青年海外協力隊や在日外国人への日本語指導といった国際協力活動など、ボランティア活動といっても様々…

いざ「やってみようかな…」と思ってもどこから手を付けて良いのか思案のしどころになってしまいます。そんな時、「楽しいと感じるのはどんなことか」「どんなことで癒されるのか」をひとつの目安にしてみてもいいかでしょう？ 夏だからこそできる活動をご紹介します!!



親子で楽しくボランティア活動に取り組んでみたいなあ…。

- 「森林ボランティア+野外炊飯orキャンプ」の企画ものに参加!!



親子で社会貢献ができて、おまけにキャンプ気分が味わえる野外炊飯や一泊するキャンプもできたら、より濃い夏の思い出ができそうですね。

野菜作りが趣味なもので

- 「一人暮らしのお年寄りへ夏野菜のお裾分け」



きゅうりにトマト、ナスにトウモロコシ。野菜作りが面白くなって、気づいたら瓜なり状態…。家族だけじゃ食べきれないし、せっかく育てた野菜たち。ご近所へお裾分けしてみませんか。代わりにあなたの野菜作りの疑問に良いヒントが得られるかも!!



夏は やっぱり海でしょう!!

- 「ビーチクリーン」

～楽しかった海への恩返し～



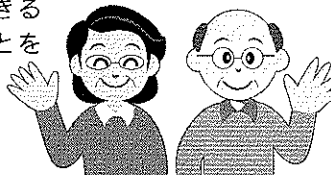
海水浴に海の家、バーベキューや花火と、夏の海辺は大賑わい。たくさんの楽しさをくれた海に、その分のお礼の意味を込めて清掃活動で海への恩返し。清掃対象は、自分たちが持込んだ物からでも構いません。今度この海に来た人が、自分たちのように幸せな気持ちになれますように…

久しぶりに、じいちゃん、ばあちゃんに会える!!

- 「携帯電話など家電製品の取り扱いを教えてあげよう」



テレビやパソコン、携帯電話など家電製品の多機能化で操作が複雑化して分かりづらいなあと感じているおじいちゃんおばあちゃんも多いはず。日頃使い慣れている人だからこそできる事のひとつでは？その人のことを思って「分かりやすく伝えるにはどうしたらいいかなあ？」と考えることも大事ですね。

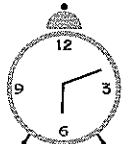


涼しい時間に身体を動かすと気持ちいい!!

- 「地域のラジオ体操に参加しちゃいましょう!!」



夏の風物詩「ラジオ体操」。朝6時30分にはどこからともなくあの音楽が流れてきませんか？身体を動かして、朝からなんだかすっきり!!いつでもご近所の顔見知りさんをつくる、地域デビューのきっかけづくりになりますよ。



もう2度と来ないこの夏、あなたはどう楽しみます？



「えっ!これもボランティア?」と思われたものも、実はそうなんです。ボランティアって、もっと身近でありふれた日常生活の中にもあるものなのです。困っている人や状況に対し“自分のできることをできる範囲で行うこと”そしてそこに“楽しさや喜びを見いだせる”ことが、大切なのではないのでしょうか。あなたの気持ちひとつで、あなたの世界はもっと広がります。

「研修を企画するとき大切にしていること」

事実を伝え、他の地域に備えてもらうための活動

私が大分県災害ボランティアネットワーク(旧大分県災害ボランティア連絡協議会)事務局の担当になったその年に、「震災がつなぐ全国ネットワーク(以下、震つな)」の「移動寺子屋」という事業で、現顧問の村井氏が大分県にいられました。これは、「震つな」が被災地での支援活動の経験を踏まえて、平常時から顔の見える関係づくりを構築するためにやっている事業で、全国のいろいろな地域に向いて講座や研修会を開催しているというものです。前身は、阪神淡路大震災の瓦礫などを展示して災害を伝える「ガレキキャラバン」というものだったそうです。



その時に村井氏が「被災地の責任として事実を伝え、今後被災地になるかも知れない地域に備えてもらうための活動を行っている」という話をされました。「被災地の責任」とは何なのだろうか？この言葉がいつまでも私の心に残っていました。自分たちが味わった苦しみを、次の被災地には受けて欲しくない。その後、被災地で活動を経験するようになって、この言葉の重さを少しずつ感じるようになってきました。被災し、自宅が全壊しているのにもかかわらず、また、家族を亡くしているのに

もかわらず、「被災地の責任」として活動を行っている被災された方々。11歳の息子さんを地震災害で亡くされた自治会長さんに、失礼な質問をしてしまった時のことは今でも忘れることが出来ません。「息子さんを亡くされたのに、地域の人の為ががんばれるのは何故ですか？」「息子の死を無駄にしたくない。息子にも情けない姿を見せたくない。自分たちが味わったこの苦しみを、次に被災する地域の人たちには受けて欲しくない。全国から支援していただいた被災地の責任として、何に困ったのか？ どのようなことを準備しておけばよかったですか？ また、このような制度があった方が良くと思うことは、国や県に働きかけていくことが務めだと思っている。」悲しみや苦しみを心の奥にしまい込み、話してくださったその言葉に私のこころは痛み、こみ上げてくるものをおさえることが出来ませんでした。その傍らで奥さんが、私たちのためにお茶の準備をしてくださっていました。同じ親として、我が子を亡くした悲しみを推しはかることは毛頭できませんが、一生消えることのない苦しみだということはおわかりました。

被災地の教訓を学び伝えていくための研修会の企画が必要

そのような想いで発信してくださっている情報を、受け取る側はどうでしょうか、きちんと受け止められているのでしょうか？ 理解しようとしているのでしょうか？ 新たな被災地に赴くたびに、受け止められていないと感じることが非常に多いです。同じ苦しみを受け、同じ失敗を繰り返していると思います。このようなことでは、被災したにも関わらず、次の被災地になるかも

れない全国へ発信し続けている方々に対して申し訳ないと思います。せめて、その場を共有し、その苦悩な様子を近くで感じた私たちは、伝えていく義務があるように思います。そして、伝えられた方々が災害時への取組の必要性を感じ、備えてもらうための行動に結びつけることが重要なのだと思います。

カタチだけの訓練や研修ではない、本当に必要な知識の習得や準備しておくべき仕組みについて、被災地の教訓から学び伝えていくための研修会の企画が必要です。その企画を立案するにあたって大切にしていることは、これまでの災害によって大きな犠牲を払っていることを念頭に、被災された方々の想いを届けることです。



7月21日に山口県防府市で豪雨による被害が発生し、尊い人命が失われています。いつも気になっていますが豪雨になると川の様子を見に行ったり、田んぼが気になって見に行かれた方が行方不明になっているとの報道がなされます。今回もそのような方が現在(7月22日時点)も行方不明になっているとのこと。みなさんに是非お願いします。大切に育てている農作物が気になることと思いますが、命が一番大切です。命に変わるモノはありません。豪雨の時には外出しないようにしましょう。

(文責 村野)

夏ボラ体験者 ただいま 増加中!!

福祉施設や保育所などでボランティアをしてみたいと思っている人、集まれ!! 各市町村別の受け入れ施設が掲載された冊子から興味のある施設をPICK UP!
申込書を社協に提出して手続き後、活動へGO! 学生から一般の方まで幅広く募集します。長期の休暇期間にしかできないこと、会社や学校では教えてくれないこと、自分の世界が広がってゆくを感じてみませんか? 思い立った時が始め時!



プチほら 打ち水

熱を帯びた地面に水を撒くことで気化熱を発生させ、体感温度を和らげる日本人の習性「打ち水」。
今年の夏から取り組んでみませんか?
雨水や除湿器で貯まった水を玄関先などに潑くだけ。ひんやり感を楽しめ、地域のみんなでやれば全体がちよっぴりクールダウンできるかも?
ただし雨水をためる際には、雨の降らない日には容器のふたをしっかりとしておいてね。夏の夜に悩ましい蚊の発生を防ぎます。

【夏のボランティア体験月間】

- 期間: 7月21日~8月末の内、原則3日間活動
- 冊子のお求めは、大分県ボランティア・市民活動センターまで



「第18回
全国ボランティア
フェスティバルえひめ」
9月26・27日開催!!

今年で18回目となるボランティアフェスティバル。今回は「しみるチカラ! 愛媛から」を大会テーマに掲げ、これからのボランティア・市民活動を考え、社会を変える「民力」を、“知る、考える、創る、継ぐ”を大会コンセプトに、愛媛県で開催。

日にち: 9月26日(土)・27日(日) 参加登録料 3,000円
時 間: 26日13:00~、27日(日)9:00~ ● 全体会および中小分科会への参加登録料として
会 場: ひめぎんホール他(愛媛県) * 高校生以下無料、交流会費別途

お問い合わせ先 第18回全国ボランティアフェスティバルえひめ実行委員会事務局
〒790-8553 愛媛県社会福祉協議会 地域福祉班
愛媛県松山市持田町3丁目8-15 愛媛県総合社会福祉会館内
TEL: 089-921-8912 FAX: 089-921-5289
E-mail: chiiki@ehime-shakyo.or.jp

NS大分ビル
(アイネス)に
サテライト
OPEN!!

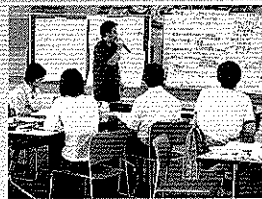
平成21年4月1日より大分市東春日町のNS大分ビル1階においたNPOボランティアセンター内に、大分県ボランティア・市民活動センターのサテライトがオープンしました。

相談日は週3日。月・水・金曜日です。
お近くにお越しの際には、気軽に立ち寄ってみてください。

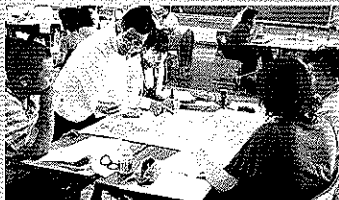
大分県ボランティア・市民活動センター サテライト
〒870-0037 大分市東春日町1番1号 NS大分ビル1F
おいたNPOボランティアセンター内
TEL: 097-514-3040 FAX: 097-514-3132

平成21年度大分県ボランティアコーディネーター研修会

今年度は6月11日と12日の2回、開催しました。講師に住民流福祉総合研究所の所長 木原孝久氏をお迎えし、1日目は「施設におけるボランティア受入法」を2日目は「施設におけるボランティア推進のための活動プログラム」について学びました。



「現在の施設」ではなく「これからの施設」のあるべき姿やそこで働くコーディネーターの役割やボランティアの様々な活動の可能性を指導いただきました。参加者からは、「施設本位でなく本人本位の考え方で一人一人をもっと大切にしていきたい」「地域や施設、社協、すべての人の協力がとても大切だ」等の感想をいただきました。



木原孝久氏

平成21年度大分県ボランティア・市民活動講座

5月30日(土)、大分県総合社会福祉会館にて「平成21年度大分県ボランティア・市民活動講座」が開催されました。講師に住民流福祉総合研究所の所長 木原孝久氏をお迎えし、地域で支え合う活動を探し出し実践に結びつける仕組み作りについて学びました。

要援護者マップを日常の支え合い・助け合いの仕組み作りに応用した「支え合いマップ」を用いた講座の参加者からは、地域コミュニティを形成してゆく手段としてマップづくりの必要性を強く感じられていたようです。



ボランティア・市民活動情報誌

ぼらたね OITA

URL ☎ <http://www.oitavoc.jp> E-mail ✉ oitavoc@oitavoc.jp

～ボランティアの種を蒔いて育てよう～

発行所

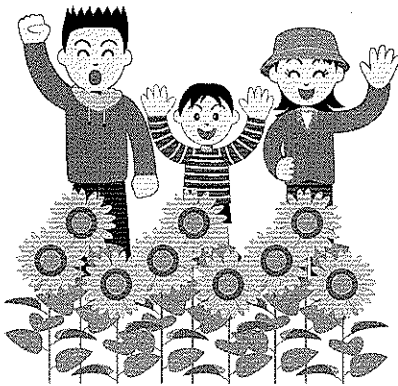
社会福祉法人 大分県社会福祉協議会
大分県ボランティア・市民活動センター
〒870-0907
大分市大津町2丁目1番41号

お問合せ先

TEL(097)558-3373
FAX(097)558-1296

2009 JULY

No.15



この夏を思いっきり楽しもう!!

ペットボトルキャップや使用済み切手の収集や、手話・点字・点訳・傾聴といった技術を支援活動、青年海外協力隊や在日外国人への日本語指導といった国際協力活動など、ボランティア活動といっても様々…

いざ「やってみようかな…」と思ってもどこから手を付けて良いのか思案のしどころになってしまいます。そんな時、“楽しいと感じるのはどんなことか” “どんなことで癒されるのか” をひとつの目安にしてみてもいいのではないでしょうか？ 夏だからこそできる活動をご紹介します!!

親子で楽しくボランティア活動に取り組んでみたいなあ…。

- 「森林ボランティア+野外炊飯orキャンプ」の企画ものに参加!!



親子で社会貢献ができて、おまけにキャンプ気分が味わえる野外炊飯や一泊するキャンプもできたら、より濃い夏の思い出ができそうですね。

野菜作りが趣味なもんで

- 「一人暮らしのお年寄りへ夏野菜のお裾分け」



きゅうりにトマト、ナスにトウモロコシ。野菜作りが面白くなって、気づいたら瓜なり状態…。家族だけじゃ食べきれないし、せっかく育てた野菜たち。ご近所へお裾分けしてみませんか。代わりにあなたの野菜作りの疑問に良いヒントが得られるかも!!



夏はやっぱり海でしょう!!

- 「ビーチクリーン」

～楽しかった海への恩返し～



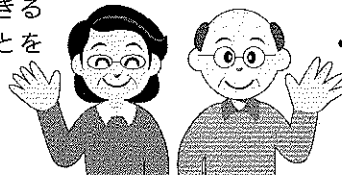
海水浴に海の家、バーベキューや花火と、夏の海辺は大賑わい。たくさんの楽しさをくれた海に、その分のお礼の意味を込めて清掃活動で海への恩返し。清掃対象は、自分たちが持込んだ物からでも構いません。今度この海に来た人が、自分たちのように幸せな気持ちになれますように…

久しぶりに、じいちゃん、ばあちゃんに会える!!

- 「携帯電話など家電製品の取り扱いを教えてあげよう」



テレビやパソコン、携帯電話など家電製品の多機能化で操作が複雑化して分かりづらいなあと感じているおじいちゃんおばあちゃんも多いはず。日頃使い慣れている人だからこそできる事のひとつでは？その人のことを思って「分かりやすく伝えるにはどうしたらいいかなあ？」と考えることも大事ですね。

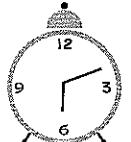


涼しい時間に身体を動かすと気持ちいい!!

- 「地域のラジオ体操に参加しちゃいましょう!!」



夏の風物詩「ラジオ体操」。朝6時30分にはどこからともなくあの音楽が流れてきませんか？身体を動かして、朝からなんだかすっきり！ついでにご近所の顔見知りさんをつくる、地域デビューのきっかけづくりになりますよ。



もう2度と来ないこの夏、あなたはどのように楽しみます？



「えっ！これもボランティア？」と思われたものも、実はそうなんです。ボランティアって、もっと身近でありふれた日常生活の中にもあるものなのです。困っている人や状況に対し“自分のできることをできる範囲で行うこと”そしてそこに“楽しさや喜びを見いだせる”ことが、大切なのではないのでしょうか。あなたの気持ちひとつで、あなたの世界はもっと広がります。